

▼フィズリン錠 [内] (2022.3 販売中止)

【重要度】 【一般製剤名】 モザバプタン塩酸塩 mozavaptan hydrochloride 【分類】 V2-受容体拮抗剤 [SIADH の低 Na 血症治療薬]

【単位】 ▼30mg/錠

【常用量】 30mg/日 [投与開始3日間で有効性が認められた場合に限り、引き続き7日間まで継続投与可能]

【用法】 分1 [朝食後又は昼食後]

【透析患者への投与方法】 設定なし (1)

【保存期 CKD 患者への投与方法】 慎重投与 (1) 腎障害患者では血中濃度が上昇するため、高 K 血症をはじめ副作用に注意 (1)

【特徴】 バソプレシン V2-受容体拮抗剤。集合管でのバソプレシンによる水再吸収を阻害して選択的に水を排せし電解質排泄の増加を伴わない利尿作用（水利尿作用）を示す。

【主な副作用・毒性】 口渇、肝障害、食欲不振、倦怠感、口周囲浮腫、頻尿など

【モニターすべき項目】 血清 Na、肝機能

【吸収】 食後投与に比べ空腹時投与では、未変化体と活性代謝物の合計の Cmax 及び AUC48hr はそれぞれ 41%及び 16%増加 (1)

【F】 未変化体として 0.8% (1)

【tmax】 未変化体 0.98±0.49hr (1) 活性代謝物 [M1~M5] 1.40~1.63hr (1)

【代謝】 未変化体および代謝物の代謝には CYP3A4 と 2C8 が関与 [脱メチル化] (1) 主要代謝物 M1~M5 は薬理活性を有し、定常状態の未変化体に対する AUC の割合は M1 : 328%, M2 : 1617%, M3 : 564%, M4 : 1415%, M5 : 500%であり、活性代謝物の寄与が大きい (1)

【排泄】 尿中回収率 45.6%、糞便中回収率 49.7% [po, 168hr まで] (1)

【CL/F】 未変化体として 3830.9±1723.1L/hr [F が小さい] (1)

【t1/2】 2hr (1)

【蛋白結合率】 未変化体 95.9~98.2%、主代謝物 83.7%以上 (1)

【Vd/F】 未変化体として 9,950.8±3,176.7L/man [F が小さい] (1)

【MW】 464.00

【透析性】 除去されにくいと思われる (5)

【O/W 係数】

【備考】 使用時にはバソプレシン分泌過剰症 (SIADH) の診断の手引きを参照。心不全にはサムスカ錠が適応。

【更新日】 20220329

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院でいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。